

交 渉 の 議 事 要 旨

課 所 等 名	開 催 日 時	開 催 場 所	出 席 者		議 題	発 言 概 要	配 付 さ れ た 文 書 等
			当 局 側	職 員 団 体 側			
経 理 課 契 約 課	平成27年4月14日(火) 17:30~17:48(18分間)	室蘭開発建設部 3階会議室	経理課長 林 光春 契約課長 臼井 義晃 経理課長補佐 長尾 敦史	全北海道開発局労働組合室蘭支部 経理・契約分会 執行委員長 星 功一 書記長 多田 新 執行委員 黒川 尚人	当課における超過勤務の縮減について	○職員団体側から 実効性のある超過勤務縮減を責任を持って行ってもらいたい。 ○当局側から 超過勤務の縮減については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行などに努めてきたところである。また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、今後とも、この点に十分配慮するとともに、きめ細かな業務の進行管理を行い超過勤務の縮減に努めていきたい。	なし
苫 小 牧 河 川 事 務 所	平成27年3月23日(月) 17:20~17:30(10分間)	苫小牧河川事務所 会議室	苫小牧河川事務所 所長 伊藤 禎朗 総務課長 逢見 理幸	全北海道開発局労働組合室蘭支部 苫小牧河川分会 執行委員長 松島 義明 書記長 岩田 清徳	当事務所における超過勤務の縮減について	○職員団体側から 特定の者に超過勤務が偏っていることから、適正な業務配分やきめ細かな進行管理を行い、超過勤務の縮減により一層努力してもらいたい。 ○当局側から 業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、やむを得ず週休日及び休日勤務を命じる場合は振替制度や代休制度を活用するほか、定時退庁日における定時退庁の励行など、超過勤務の縮減に努めていきたい。また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、今後とも、特定の職員に過度な負担がかからないよう十分配慮するとともに、きめ細かな業務の進行管理に努めていきたい。	なし
苫 小 牧 港 湾 事 務 所	平成27年4月17日(金) 12:05~12:10(5分間)	苫小牧港湾事務所 1階入札室	苫小牧港湾事務所 所長 盛田 泰寛 副所長 浅尾 治実 総務課長 猪本 勝	全北海道開発局労働組合室蘭支部 苫小牧港分会 執行委員長 小林 圭 書記長 鈴木 貴秀	当事務所における超過勤務の縮減について	○職員団体側から 超過勤務の縮減に向けて、職場実態を正確に把握するとともに、職員の意見を十分聞き入れるなどして、具体的方策を講じてもらいたい。 ○当局側から 超過勤務の縮減については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行などに努めてきたところである。また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、今後とも、この点に十分配慮するとともに、きめ細かな業務の進行管理を行い超過勤務の縮減に努めていきたい。	なし

交 渉 の 議 事 要 旨

課 所 等 名	開 催 日 時	開 催 場 所	出 席 者		議 題	発 言 概 要	配 付 さ れ た 文 書 等
			当 局 側	職 員 団 体 側			
浦 河 港 湾 事 務 所	平成27年3月30日(月) 17:25~18:04(39分間)	浦河港湾事務所 会議室	浦河港湾事務所 所長 澤合 英治 総務課長 伊藤 優一	全北海道開発局労働組合室蘭支部 浦河港分会 執行委員長 小林 祐一 書記長 藤由 幸大	当事務所における超過勤務の縮減について	○職員団体側から きめ細かな進行管理を行い、超過勤務の縮減により一層努力してもらいたい。 ○当局側から 超過勤務の縮減については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行などに努めてきたところである。また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、今後とも、この点に十分配慮するとともに、きめ細かな業務の進行管理を行い超過勤務の縮減に努めていきたい。	なし